



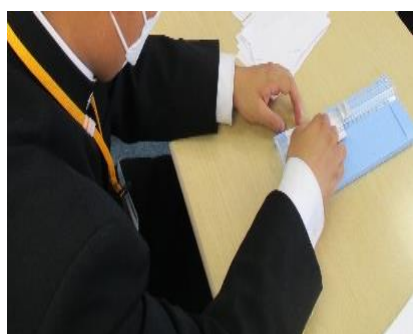
進路だより



立春を過ぎましたが、寒い日が続いています。卒業学年は、卒業式まであと2週間となりました。体調管理をしっかりと、友達や先生と楽しい学校生活を過ごしてほしいと思います。

今月も高等部2年生の現場実習の様子を紹介しながら就労移行支援・就労継続支援B型の各サービスについてお知らせします。

【就労移行支援事業所における現場実習】



封筒作り・パソコンを使用している文字入力・カード仕分けをしている様子です。就労移行事業所は生産活動をする就労の場ではなく、一般企業に就職できるよう訓練を行う障害福祉サービスです。最長2年間の利用で、個人差はありますが、本校卒業生の利用者は1年程で就職するケースが多いです。その他の訓練内容として、ボールペンの分解、ボルトとナットの組み付け、挨拶・報告・連絡・相談の仕方の練習、ビジネスマナー講座、ストレッチリラクゼーションなどを行いました。

【就労継続支援B型事業所における現場実習】



小松菜の苗植え・パン作り・カレンダー作りをしている様子です。一般企業・就労継続支援A型事業所はハローワークに求職登録が必要です。応募後、選考試験を受けてから雇用契約を結びますが、就労継続支援B型事業所はハローワークを介さず、福祉サービスとしての就労の場となります。その他の作業内容として、ハンドメイド、ゴム板数え、割り箸の袋詰め、弁当作り、自動車部品作業、タオルたたみなどを行いました。特別支援学校高等部卒業後に就労継続支援B型サービスを利用する場合、就労移行支援事業所での就労アセスメントが必要となります。

